

【櫛引地域】横綱柏戸記念館活性化事業

【事業年度：R3～】

取組みの背景や経緯

横綱柏戸記念館は、昭和36年に大鵬とともに横綱へ昇進し「柏鵬時代」と称される大きな一時代を築いた櫛引地域出身の横綱である柏戸（富樫剛：鶴岡市名誉市民、山形県民栄誉賞第1号受賞者）の偉大な功績を後生に語り継ぐとともに、国技大相撲に対する理解を深めるため、平成16年に設置された施設であるが、有効に活用することができず、来館者は減少している。

当館周辺エリアは、櫛引地域における地域公共交通の拠点地であり、赤川かわまちづくり計画との連携や鶴岡市の南部エリア観光における櫛引地域の重要地点としても活用できると考えているが、より効果的な事業展開ができるよう官民連携で設立した「横綱柏戸記念館活性化推進委員会」を中心に、自主的なイベント等を実施して来館者の増加を図り、地域振興や産業観光振興を展開している。

事業概要

≪横綱柏戸記念館活性化推進事業補助金≫

（事業主体：横綱柏戸記念館活性化推進委員会）

- 学童相撲大会の実施
- 横綱柏戸に係る講演会の実施
- 他団体との連携による朗読劇の開催

事業効果と今後の展望

■事業効果

官民が連携して活性化策を検討し実施することで、機動性が向上し幅広い視野で対策が講じられるとともに、来館者の増加や学童相撲の振興、地域連帯感の醸成に繋がった。

※R2年度479人→R3年度365人→R4年度610人→R5年度1,200人（見込み）

■今後の展望

官民が連携し、継続して来館者の増加や地域振興、産業観光振興策を検討し実行していく。また、観光ガイドや朗読劇については、観光商品としての活用も探していきたい。



朗読劇「柏戸少年紀」



横綱柏戸記念学童相撲大会